

---

# また貴方のもとで笑います

落ちぶれた天使

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

また貴方のもとで笑います

### 【Nコード】

N0928Z

### 【作者名】

落ちぶれた天使

### 【あらすじ】

組織との決戦が終わって、組織は壊滅して解毒剤も閑静しましたが、コナンは戦いでおった傷のせいでめざめず、四十九時、生と死の世界をさまよいつづけています。そんな中、灰原哀と服部平次がコナンの関係者に、コナンの本当の正体を話しました。その真実に、蘭は二人もの大切な人がいつきに死とのがけっぷちにいると知って、涙がないでもないともりません。少年探偵団も、コナンの生還を願います。和葉や園子も、コナンにかえってきて、もう一度蘭にわらってあげてほしいと心から願い、それに小五郎とえり、和葉と

園子も、これ以上蘭を泣かせないで、早く帰ってきてと願います。

☆ 一応新蘭です。結果的にはハッピーエンドなので、ご安心ください

## プロローグ（前書き）

はじめまして☆これからよろしくおねがいします♪

## プロローグ

『巨大犯罪組織壊滅!?!』

このニュースが私達の目の前を真っ暗にさせた。

ニュースの下の方で、この組織壊滅のせいで負傷した人のことが書いてあった。

誰かがめをうたがった。

彼のことを愛する、すべての人が。

『意識不明の重態 江戸川コナン君(7) 重態 服部平次さん(17) 軽症 56人』

どうしてこんなに神様は不公平なんだろう。

ねえ、

優しく、笑ってよ？

あの、生意気な声で、笑みで笑ってよ？

お願い・・・

もう、たえられないよ・・・

## プロローグ（後書き）

ではまた☆

## ぼろぼろの再会（前書き）

でわがんばりますく　く



## ぼろぼろの再会

蘭「お父さん・・・嘘、だよな・・・？」

蘭は頭や肩、おなかなどに包帯をまき、集中治療室で酸素マスクと点滴をつけられ、心拍数のメーターがついていて見るからにいたいたしいコナンを窓の外から見て、崩れおちた。

小五郎「コ、ナン・・・」

蘭「イヤアアアアアアア！」

蘭は泣き叫んだ。

普通なら病院では静かに、といわれるところだが、

他の看護師も、医者も、黙ってコナンと蘭を悲しそうな顔で見つめていた。

そこに少年探偵団、園子、あがさ博士、哀、和葉、松葉づえをついている服部などが到着した。

あとから到着した人も、さっきまではただひたすら心配していたのに、

ただ、

黙ることしかできなかった。

服部「嘘、やろ・・・？工藤・・・？」

歩美「そん・・・な・・・」

げんた「じょ、冗談・・・よせよな・・・？」

光彦「起きて・・・くだ・・・さい・・・よ・・・」

あがさ「新・・・一・・・」

哀「工藤・・・君？」

和葉「嘘やろ・・・？」

園子「がきんちょ・・・？」

子供たちは泣き叫んだ。

のちに警察人たちも到着するが、反応はさっきとまったく同じだった。

心拍数のメーターだけが、悲しく響いた。

蘭「もどって、きてよ？コ、コナンくん！！！！」

和葉「ら、蘭ちゃん・・・」

蘭「コナン君・・・、あのね・・・コナン君が入院しちゃってから、新一に、電話しても留守電だし、メールしても返信かえってこないんだ・・・どうしよう・・・私、私、ひとりぼっちになっちゃった・・・！！！！」

服部「なあ、姉ちゃん、もう、はなしていいんとちゃうか？」

哀「そうね・・・組織もつぶれたし・・・いいわ。全部、話すわ・・・」

## ぼろぼろの再会（後書き）

次回もよろしくつす

## 決断のとき（前書き）

でわがんぱりまつす

## 決断のとき

哀「江戸川コナンは、この世に存在してはならない人間だわ……」

蘭「え？」

哀「江戸川コナンの正体は工藤新一よ。」

佐藤「でも、コナン君は子供よ！」

哀「APTX4869。工藤君は蘭さんとトロピカルランドにいったあの日、とりひきを目撃してしまって、APTXを投与されてしまい、幼児化したのよ。もともとAPTXは人を殺す為の毒薬。体から毒が発見されないという代物の試作品。大半は死んでしまうんだけど、工藤君はたまたま副作用で幼児化したのね。そして今回つづれた組織が工藤君にその薬を投与した組織。その組織に所属しているAPTXを作ったのは他でもない、私よ。コードネームはシェリー。本名は宮野志保で姉を組織に殺されて、反感して、死のうと思って、あAPTXをのんだら、運のいいことに幼児化し、私を逃がしてくれたの。これですべてよ……。」

蘭「うそ……じゃあなんで、何で新一は私にそのこと……」

蘭はそういうと走って病院をでていった。

哀はそれを悲しそうに見つめてからもう一度、他のメンバーのほうを向いていった。

哀「工藤君は、正体がばれると、また命がねらわれ、まわりの人に危害がおよぶからずっと正体をかくしていたのよ。それだけ、危険な組織だから・・・」

めぐれ「・・・分かった・・・明日、事情聴取がしたいから警視庁にきてくれ。わしはこれで・・・」

警察人たちはそういうとさっていった。

和葉「辛かったんは、またされてた蘭ちゃんだけやのうて、工藤君も、必死に蘭ちゃんや関係者のうちらのために、我慢してたんやな・・・」

園子「うん・・・」

歩美「コナン君が新一お兄さんだったなんて・・・」



げんた「びっくりだよな・・・」

光彦「はい・・・」

小五郎「あの探偵坊主、俺たちのために・・・」

えり「優しい子ね・・・」

園子「ちょっと待って、蘭、もしかしたら、工藤君ずっと自分のことだましてたんだ、なんて勘違いしちゃうかもよ!？」

和葉「せや、蘭ちゃんすぐさがそ!」

## 決断のとき（後書き）

ああああああああああああああああ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0928z/>

---

また貴方のもとで笑います

2011年12月3日17時15分発行